

# 札幌市のごみ処理状況

～平成22年度中央環境審議会  
循環型社会計画部会  
第1回地域ヒアリング資料～



札幌市環境局  
平成22年8月27日

# 1 札幌市一般廃棄物処理基本計画 「スリムシティさっぽろ計画」について

# 一般廃棄物処理基本計画改定の背景

## 清掃工場の老朽化



昭和55年から稼働している篠路清掃工場の耐用年数が近い。

## 埋立地のひっ迫



ごみ量が減らなければ札幌市の埋立地は平成36年度でいっぱい。

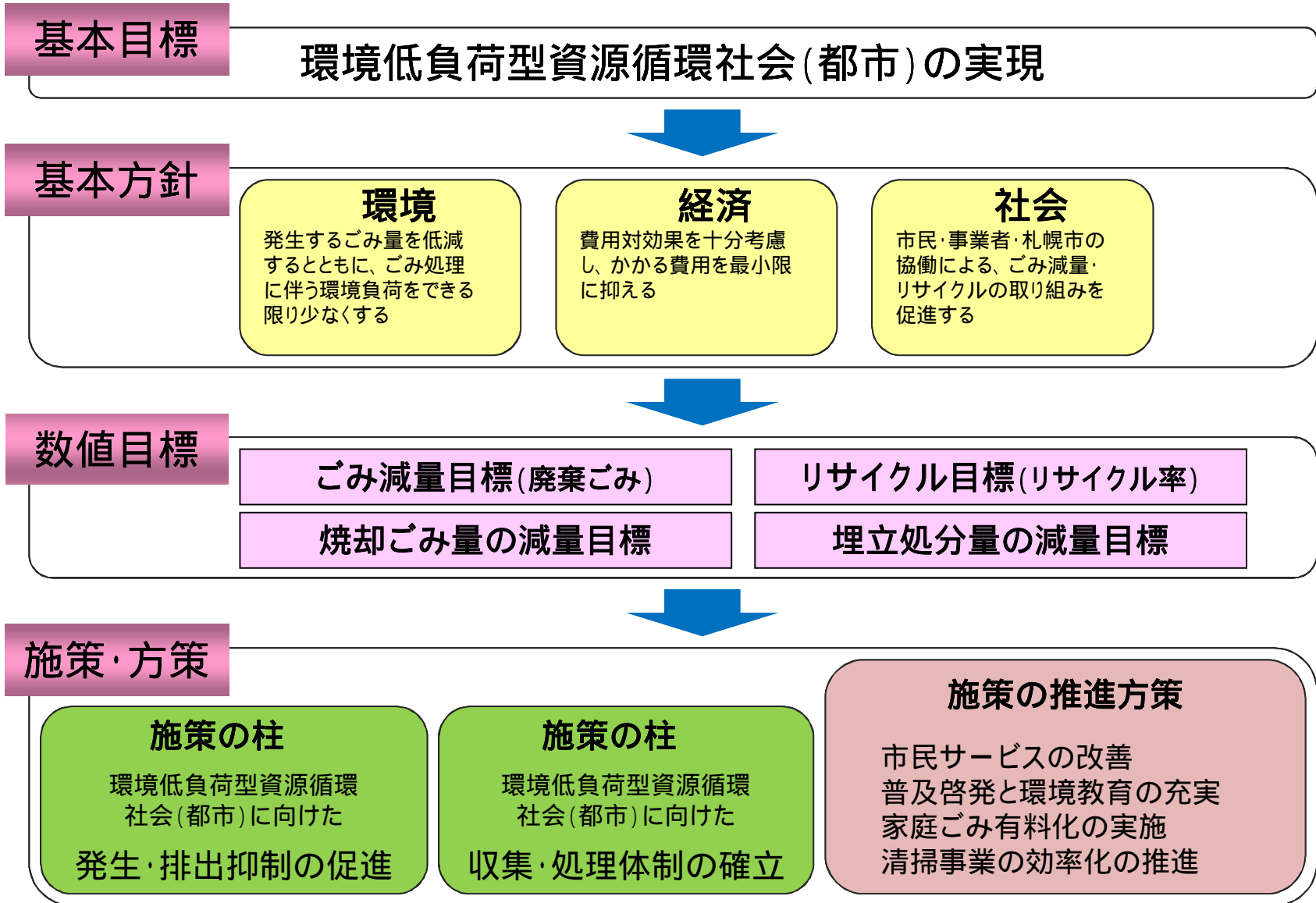
### 「スリムシティさっぽろ計画」の策定

廃棄ごみ(燃やせるごみ・燃やせないごみ)を減らして、

- 清掃工場1カ所の廃止
- 埋立地の延命化

**を目指す！**

# 「スリムシティさっぽろ計画」の概要



# 「スリムシティさっぽろ計画」のごみ量管理目標

## ごみ減量目標(廃棄ごみ)

廃棄ごみ量を平成16年度(82.4万トン)実績に対し  
平成22年度までに20%以上減量( 65.9万トン)  
家庭からの1人1日あたりの廃棄ごみ量500g以下  
平成29年度までに30%以上減量( 57.7万トン)  
家庭からの1人1日あたりの廃棄ごみ量400g以下

効果:10年間で  
約140万トン  
を削減

## リサイクル目標(リサイクル率)

リサイクル率を平成16年度の16%に対し  
平成22年度までに25%以上  
平成29年度までに30%以上

効果:10年間で  
約220万トン  
を資源化

## 焼却ごみ量の減量目標

焼却ごみ量を平成16年度実績(70.2万トン)に対し  
平成22年度までに16万トン以上減量( 54.2トン)  
平成29年度までに24万トン以上減量( 46.2トン)

効果:4つある清掃  
工場のうち1つが  
建替不要

## 埋立処分量の減量目標

埋立処分量を平成16年度実績(22.2万トン)に対し  
平成22年度までに20%以上減量(17.7万トン)  
平成29年度までに30%以上減量(15.5万トン)

効果:平成29年度時  
点での残余年数が  
8年 12年

## 2 「新ごみルール」について

# 家庭ごみ有料化を含む「新ごみルール」の概要

～ 分別区分の変更と有料化～

平成21年7月1日より家庭ごみの新ごみルールを施行。

「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」 有料化(2円/ℓ)  
「雑がみ」「枝・葉・草」 分別収集の開始



- 燃やせるごみ(週2回)
- 燃やせないごみ(4週1回)
- 大型ごみ(週1回:事前申込)

製品プラスチック  
皮革ゴム類

廃棄ごみ

有料戸別収集



- びん・缶・ペットボトル(週1回)
- 容器包装プラスチック(週1回)
- 雑がみ(2週1回)
- 枝・葉・草(4週1回:5~12月上旬)

資源物

## 「新ごみルール」実施前後のごみ量の推移

区分		H20.7-H21.6	H21.7-H21.6	対前年同時期比
廃棄ごみ	燃やせるごみ	370,906t	237,128t	64% ( 36%)
	燃やせないごみ	64,264t	16,975t	26% ( 74%)
	大型ごみ(破碎・焼却)	11,144t	9,477t	85% ( 15%)
	地域清掃ごみ	2,643t	5,586t	211% (+ 111%)
	管路ごみ	673t	504t	75% ( 25%)
	小計	449,631t	269,670t	60% ( 40%)
		1人1日当たり	649g	388g
資源物	びん・缶・ペットボトル	28,915t	33,343t	115% (+ 15%)
	容器包装プラスチック	22,362t	29,120t	130% (+ 30%)
	枝・葉・草	-	17,511t	-
	雑がみ	-	35,036t	-
	大型ごみ(リサイクル)	119t	131t	110% (+ 10%)
	小計	51,396t	115,141t	224% (+ 124%)
		1人1日当たり	74g	166g
合計		501,027t	384,811t	77% ( 23%)
		1人1日当たり	723g	554g



# ごみ量管理目標の達成状況

## ごみ減量目標(廃棄ごみ)

廃棄ごみ量を平成16年度(82.4万トン)実績に対し  
平成22年度までに20%以上減量( 65.9万トン)  
家庭からの1人1日あたりの廃棄ごみ量500g以下  
平成29年度までに30%以上減量( 57.7万トン)  
家庭からの1人1日あたりの廃棄ごみ量400g以下

### 21年度実績

全体:31.6%減  
( 56.3万トン)  
1人1日:388g以下

達成

## リサイクル目標(リサイクル率)

リサイクル率を平成16年度の16%に対し  
平成22年度までに25%以上  
平成29年度までに30%以上

### 21年度実績

25.1%

達成

## 焼却ごみ量の減量目標

焼却ごみ量を平成16年度実績(70.2万トン)に対し  
平成22年度までに16万トン以上減量( 54.2トン)  
平成29年度までに24万トン以上減量( 46.2トン)

### 21年度実績

21.5万トン減  
( 48.7万トン)

ほぼ  
達成

## 埋立処分量の減量目標

埋立処分量を平成16年度実績に対し  
平成22年度までに20%以上減量(17.7万トン)  
平成29年度までに30%以上減量(15.5万トン)

### 21年度実績

38.5%減  
( 13.6万トン)

達成

### 3 札幌市定山溪

## バイオマスタウン構想について

## 定山溪地区まちづくり協議会の発足

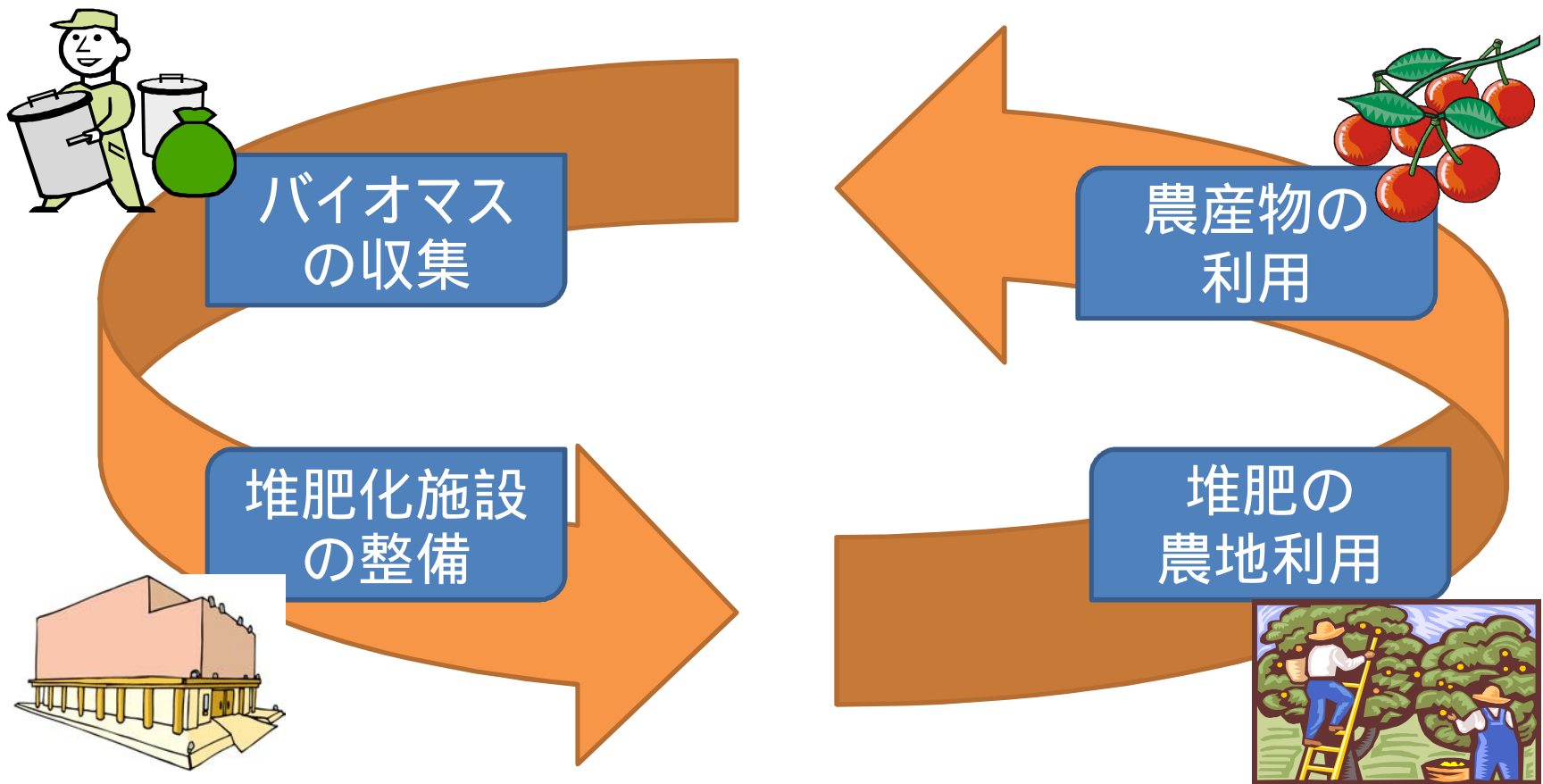
事業者(観光協会・旅館組合・飲食店組合)、住民(町内会等)、行政(札幌市)で構成

バイオマスタウン構想について計4回の会議を開催  
(平成19年11月～20年3月)



# バイオマス資源の地域内循環

健康保養温泉地の魅力度向上・地域振興  
札幌市の廃棄物の減量・資源化



## バイオマス利活用方法

---

ホテル・旅館等の事業所で生ごみを分別排出  
生ごみの収集料金を安価し、分別を推進

一般ごみ: 5,200円/m<sup>3</sup>

生ごみ: 4,900円/m<sup>3</sup> ( 300円)

H18年にモデル事業を行い効果を確認

期間: H18年4月(25日間)

参加数: 20事業者

総回収量: 40.25トン(1.6トン/日)

きょう雑物混入割合: 4.9%(処理業者実績8%)

(たばこの吸殻、ビニール類、紙類など)

事業者には好評で、現在まで分別収集を継続



# 堆肥の農業利用

年度	堆肥使用量
H18	20トン
H19	140トン
H20	173トン
H21	289トン

いちご畑への搬入(→)



チンゲンサイ畑

# 堆肥の農作物の利用①

旬のおいしさ、楽しみながら、いっしょに“エコ”を考えましょう。

第3回 定山溪温泉 **ぐる~り**  
**エコ収穫祭**  
2008

**10/5 日** 午前10時 ▶ 午後3時  
定山溪スポーツ公園で開催

**エコ野菜・果物 直売会**  
生産者の顔を見て買って生産された  
旬の野菜も、大福・スイートコーン、  
りんご、ぶどうも、  
ほかにも「エコ」な野菜の直売会を開催！

**生ごみ堆肥 無料 プレゼント**  
ごみ分別ゲーム  
エコパネル展

**エコ体験コーナー**  
ごみ分別ゲーム  
廃材で作る木工工作教室  
作って使おう！  
オリジナルエコバッグ  
出前ミニリユース広場

**はじめよう！  
廃食油のリサイクル**

**10/6月 ▶ 10金**  
旬の味覚を、ホテル・旅館で楽しむ  
**エコ野菜・果物フェア**

定山溪観光協会の「のぼり旗」を目印にお越しください。

会場

## 堆肥の農作物の利用②

市民への提供

エコ野菜・果物直売会



ホテル・旅館等での利用

エコ野菜、果物フェア





## 今後の課題

---

生ごみ分別の更なる推進

➡ 宴会残渣などの利用

生ごみ堆肥の活用の更なる推進

➡ 関係機関との連携

EX) 農業試験場、農業協働組合